

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産原料の利用

その他

ガバレ農場（埼玉県鴻巣市）



【生産概要】（令和5年産）

経営面積：野菜100a（有機JAS認証ほ場、約40品目100品種）

水稲230a（合鴨農法50a、栽培期間中農薬・肥料不使用50a、特別栽培米130a）

採卵鶏200羽、合鴨60羽

【経営概要】従事者：江原浩昭（代表）、妻、子

有機JAS認証取得（野菜）、S-GAP取得

【販売概要】季節の野菜セットやコメ（各種）の宅配、鴻巣市ふるさと納税返礼品、個人商店やカフェ等の直売コーナーほか

■ 取組のきっかけ、特徴

今から30年ほど前に、エチオピアで有機農業や自然農業に関するNGO活動を行っていたことから有機農業に興味を持ち、就農とともに有機農業を始める。農場名「ガバレ」は、エチオピアの言葉で農民を意味し、エチオピアの農民に生きるこの意味や食べるということの本質を教えられ、彼らの生き方に感銘を受け農場の名前にする。

肥料は、地域循環を念頭に、鶏糞等に「おから」と廃棄される「魚のあら」を混ぜた「ぼかし肥料」を生産して使用。

■ 取組のメリット

利便性が悪く耕作されない畑や水田で、地域の食品残渣等を利用した肥料を使う有機農業を行うことにより、農地の有効利用や地域資源の循環に寄与。

■ 苦労している点

異常気象等の自然災害の影響による野菜の生育不良により、出荷量の確保が困難。採卵鶏と合鴨への鳥獣害被害の増加。

■ 今後取り組みたいこと

2025年度完成予定の「鴻巣市道の駅」での販売に向けた経営規模の拡大や、有機栽培を実践する仲間との特産物の創出の模索。

現在、実施している有機農業・持続可能な農業の勉強会の拡大や、子ども達が有機栽培を体験できる農園の拡大。自分で味噌を作りたいという者が増えていることから、味噌作りを通じた地域貢献。

所在地：埼玉県鴻巣市前砂359

HPアドレス：<https://gabarehiro.wixsite.com/gabare>